

新名誉会員の紹介：前会長 大宮英明氏

大宮 英明 氏

(昭和21年7月25日生まれ)

本学会前会長 大宮英明氏に対し、名誉会員の資格を授与することになりましたので、ここにそのお祝いの意味も込め、その功績を記させていただきます。



大宮英明氏は、長野県南小谷村に生まれ、父親の転勤に伴い、長野県内で9回の引っ越しの後、中学2年に上京、1969年に東京大学工学部航空学科を卒業されました。同年三菱重工業株式会社に入社され、名古屋航空宇宙システム製作所において航空機の開発・設計に長く携わられました。大学時代に近藤次郎先生の授業を受けられたことがORとの関わりのはじまりだそうですが、三菱重工業に入社後も航空機の飛行の制御安定や飛行航路の最適化に関する研究において、ORを活用されていたとのことでした。

航空宇宙の現場で30年あまり過ごされた後、産業機器、冷熱の事業にも関わり、2008年に社長、2013年から会長として三菱重工業の経営に携わられております。同社は、電力やプラントなどの社会インフラをはじめとする内需に依存した経営により、高度成長の終焉以降、長い低迷にありましたが、同氏は社長、会長として、大規模な組織の見直しや戦略的事業評価制度の導入により、先進的グローバル企業への転換に先鞭をつけました。また、社業に加え、2011年5月から2015年6月まで経団連副会長、その他社外取締役、財団理事長、工業会会長を多数歴任され、現在も幅広い分野で活動されております。

本学会においては、会長在任の2年間、「オリンピック・パラリンピックとOR」を統一冠テーマに掲げ、特設研究部会の設置、シンポジウムの開催を実現されました。また、ORを課題解決に役立つ実学として広く認知させる活動として、ものづくりとORに関する特別講演やマスコミとの座談会の実施、次代を担う若者への普及・啓蒙活動にも注力されてまいりました。

さらに、2017年度に予定されている本学会の60周年記念事業の計画立案を推進されてきたことはご既承のとおりです。

企業経営者の視点から、同氏は本学会の活性化に積極的に取り組んでこられました。これまでのご功績を讃え、感謝のしるしとして名誉会員の資格がこのたび授与されることとなりました。

【略歴】

昭和44年	東京大学工学部航空学科卒業
同年	三菱重工業株式会社入社
平成14年	同社取締役冷熱事業本部副事業本部長
平成17年	同社取締役常務執行役員冷熱事業本部長
平成19年	同社取締役副社長執行役員
平成20年	同社取締役社長
平成25年～	同社取締役会長
平成23年	日本経済団体連合会副会長 (平成27年退任)
平成26年～	セイコーエプソン株式会社社外取締役
平成27年～	三菱財団理事長
平成28年～	日本防衛装備工業会会長、三菱商事株式会社社外取締役

【日本OR学会】

平成26・27年度 会長